

令和5年度 江戸川区立東小松川小学校 学校関係者評価 最終評価報告書

学校教育目標	ひがこまっ子は みんななかよし 夢がある ○思いやりのある子 ○考える子 ○やりぬく子 ○じょうぶな子	目指す学校像 目指す児童像 目指す教師像	・子供の主体的な学習力を高められる学校 ・教職員が子供の目指すべき社会人であり、教育者である学校 ・地域・保護者すべての人と人とのつながりを大切にできる学校
--------	---	----------------------------	--

前年度までの学校経営上の成果と課題	<成果> 感染症対応を十分に図りながら、観戦上に応じた適宜教育計画を変更して実施することができた。新校舎建設のための仮校舎生活で校庭が使用できない等の制約のある中、近隣施設や近隣校の協力のもと工夫した学校生活が実施できた。教科担任制やタブレットを生かした学習展開を深めることができた。 <課題> 制限ある仮校舎生活での安全・安心な学校生活の維持と各種の教育活動の保証。感染状況に応じた感染症対応を図りながらも、さらに充実した創意・工夫した教育活動の実施とタブレットによるオンライン学習や公開の更なる効果的な実施。		
-------------------	---	--	--

教育委員会重点課題	＜取組項目＞・評価の視点	具体的な取組	数値目標		自己評価		学校関係者評価		年度末に向けた改善策
			取組	成果	取組	成果と課題	評価	コメント	
学力の向上	<学力の向上> ・授業改善の推進、学習の基礎となる基礎・基本の確実な習得、家庭学習習慣に対する学校の組織的な対応による取組の実施・充実 ・本校の取組 ・「確かな学力向上推進プラン」の実施・改善や補習の実施などによる指導の充実と授業力の向上 ・各教科等の連携教育プログラムによる連携の充実 ・教科担任制の導入 ・一人一台端末を活用した個別最適な学びの実現・東京ベネッセカリキュラムの活用	・教員相互の授業観察と改善 ・補習学習の実施 ・東京ベネッセカリキュラムの活用 ・第5・6学年の教科担任制、学年学級間の担任単元交換指導の実施 ・タブレット等のICT機器の効果的な学習活用と教員研修の実施	教職員評価アンケート達成 90%以上		B	B	・補習学習を計画的に実施できているが、個々の課題に応じた内容の指導の提供は必要と認識されている。 ・東京ベネッセカリキュラムでは4月実施に比べて、7月実施ではほぼ正常な進捗率に到達できていると見られる。 ・進歩率にも各学年で大きな向上が見られる。 ・第5・6学年の教科担任制、学年学級間の担任単元交換指導の実施している。組織的な連携指導、教科指導力の向上等の成果が見られる。また、他学年と学習面で一定の連携も実践できている。授業改善の推進と、児童理解を促した。 ・タブレット等の活用による個別最適な学習環境（オンラインでの導入）と定期的な実効的な教員研修が実施できた。	・漢字・計算習熟度の点で見られる。 ・回数を重ねることでルーティン化の正答率が上がっていることは評価できる。 ・習熟度2割アップは嬉しいと思いますが、工夫が続けてほしいと思います。 ・以下の項目も、全てにおいて仮校舎だと色々と厳しいと思います。学校側は、とても良くももたっています。 ・低学年でもタブレットを上手に操作している意見。指示板機能や映像など効果的な学習がなされた。 ・教科担任制は子供にとっても新鮮だと思います。中学への順化に力を入れています。	・第5・6学年の教科担任制、学年学級間の担任単元交換指導の更なる充実から、教員相互の指導力向上に期待している。 ・タブレット等のICT機器の効果的な学習活用が図れている。タブレット端末とノート表記等の状況に応じた使い分けが求められる。また、情報モジュール学習の徹底を期待している。 ・児童見守りもEメール配信で授業提供しているが、固定画面の送信になりがちである。一時でも学校に足を運び過ごさせる環境と工夫を工夫したい。
	<教科書の更なる充実> ・読書を通じた探究的な学習の実施・充実 ・本校の取組 ・「読書ノート」の活用、資料の収集の仕方や記録の取り方の指導、自分の考えをまとめる表現する方法の指導、朝読書と1単元同時の授業との連携付け、読書祭との関連等 ・学校図書館の整備、学校図書館を使った授業の充実 ・区立図書館との連携	・生活・総合を中心とした探究的な学び ・読書に関かたの読書推進の取組 ・図書館司書・司書教諭を中心とした環境整備 ・区立図書館と連携した学年文庫の実施 ・80%以上	教職員評価アンケート達成 80%以上 児童・保護者評価アンケート達成 80%以上		B	B	・生活・総合を中心とした探究的な学びを展開中である。 ・読書祭や読書推進を中心とした取組も実施している。 ・保護者による定期的な読書みかぜ活動を計画的に実施できている。 ・区立図書館と連携し、学習内容に応じた学年文庫の充実が図れている。 ・教職員の授業では、生活・総合的な学習の時間を中心教材に繋ぎ、専門的な外部講師の指導の下、主体的で探究的な学習向上させている。区外の読書施設と連携し、読書の指導を学び、校内で共有を図り、組織的な指導力向上を図っている。	・保護者ボランティアによる定期的な読書みかぜ活動がはじまると、児童から好評が出た。 ・学校図書館がいつもきれいできて整備されている。 ・区外の研究先進校と連携して研修が行われているように、その熱心さに感謝します。 ・これからも熱心なことを教師として教えてほしい。	・読書を通じた探究的な学習の展開が期待されている。 ・本校による読書推進の取組は評価できている。 ・本校による読書推進の取組は評価できている。 ・定期的な読書みかぜ活動が実施されている。 ・区外の読書施設と連携し、読書の指導を学び、校内で共有を図り、組織的な指導力向上を図っている。
	<運動意欲や基礎体力の向上> ○本校の取組 ・運動意欲の向上に向けた取組の実施・充実 ・休み時間を活用した「運動遊び」の全校指導 ・体育科指導の充実(限られた活動場所内)	・体力向上のためのワークアウトの実施 ・近隣スポーツ公園、公園を活用した体育学習や休み時間の運動遊び ・体育学習の指導改善 ・近隣校との連携での体育的活動や行事開催	教職員評価アンケート達成 80%以上 児童・保護者評価アンケート達成 80%以上		B	B	・近隣の公園、公園を活用した体育学習や休み時間の運動遊びを実施している。 ・近隣の公園、公園を活用した体育学習や休み時間の運動遊びを実施している。 ・近隣の公園、公園を活用した体育学習や休み時間の運動遊びを実施している。 ・近隣の公園、公園を活用した体育学習や休み時間の運動遊びを実施している。	・校庭、ボールの使用が本校でできず、たいへんご苦勞です。 ・スポーツ公園での体育学習を見学させていただいたことありがとうございます、みんなしっかりと取り組まれました。 ・校庭やボールが1年中他校と連携して工夫してよくやってくれている。	・この効果的な活用を期待する。また、来年度に新校舎のボールで学習ができるように検討中である。 ・児童の体力低下が気がかりである。縄跳びなど放課後に取り組みやすい手軽な運動を奨励していく。
共生社会の実現に向けた教育の推進	<特別支援教育の推進> ○本校の取組 ・個々の特性に応じた指導・支援の充実 ・エンカウンターデザインの視点を取り入れた園に向けた指導の実施・充実 ・エンカウンタープログラムの活用促進 ・副障交流、交流及び共同学習の実施・充実	・配慮を要する児童等の自立に向けた支援の家庭や関係機関との連携 ・読書文化児童との連携、関節交流の実施 ・ひがこまールーム、多目的室等のエンカウンタープログラムの活用促進	教職員評価アンケート達成 90%以上		B	B	・個々の特性に応じた指導等をされ、色々と配慮されている。 ・日々支援を要する児童や不適応をおこす児童が揃って一緒に働いた。サポートできる人材を一層大切にしていきたい。 ・支援を要する園に対して、学校はできるときはやりがきまやってくれている。協力できるとは嬉しい。	・今後も施設状況に応じた魅力ある教育的取組を推進していきたい。 ・今後支援を要する児童等の自立に向けた支援を、家庭や関係機関との連携を推進を図るとともに、ひがこまールーム、多目的室等のエンカウンタープログラムを活用した。園に適切な対応を図っている。 ・来年度入学期予定の全学年級・幼稚園との面談を例年以上に綿密に行い、支援を要する児童の把握と対応に事前に準備していく。	
	<子どもたちの健全育成に向けた取組> ・不登校対策の実施・充実 ・教育相談の強化 ・hyaper-QUの活用	・「江戸川っ子・家庭ルール」ひがこまスタイルの推進・定着 ・hyaper-QUの活用 ・関係機関との協力・連携	児童・保護者評価アンケート達成 90%以上		B	B	・各学年ともに「ひがこまスタイル」をもとに、仮校舎での生活と生活、心のケアが図られている。 ・「hyaper-QU」の活用も進んでいる。 ・「hyaper-QU」の活用も進んでいる。 ・「hyaper-QU」の活用も進んでいる。	・学校保健委員会の報告では、虫歯が多いことですが、仮校舎で水歯が少なくても給食後の歯ブラシやみがは検診ですが、 ・アンケートのいじめや不登校「不十分」割合が少し上がっているのが気になる。 ・高学年になるにつれ、挨拶や正しい言葉遣いができるようになっている。 ・大人数の子や不登校の子へのフォローアップ配信中の様子を紹介していた。学校への興味も高まっている。	・感染症対応や仮校舎生活の中で児童は已むを得ず生活できていると見え、生活メンバーの更なる定着を図りたい。 ・整った児童には、家庭でも園に似た対応を図って、登校できるように支援していく。
地域に広く開かれた学校(園)の表現	<自校(園)の取組の積極的な発信> ・学校(園)ホームページの充実等 ・学校(園)公開の実施・充実	・学校中の定期的で教育的なイベントに応じた情報提供を随時発信し続ける。 ・感染症対策等共有資料を提示する。 ・学校公開・行事の参加方法を仮校舎に応じた方法でweb形式等工夫して実施する。(昨年より公開日を増加した)	保護者評価アンケート達成 80%以上		A	A	・仮校舎の中でも、創意工夫され、情報発信や学校公開等も進んでいました。 ・オンラインでの学校行事や学校公開、日々の授業等を工夫して行っていると思う。 ・この取組の通りでも感染症やカラーの時に備えた適切な配慮や工夫をされていた。 ・学校中も必要な情報を発信してくれているし、テレビで自然災害や感染症等の対応措置を随時紹介や知らせられていた。	・今後学校や行事の情報提供を随時発信し続ける。 ・学校公開・行事の参加方法を仮校舎に応じた方法でさらに工夫し、web形式等を実施する。 ・新校舎移転後は仮校舎に応じた参加方法を模索し、より開かれた学校を目指す。	
	<学校関係者評価の実施> ・教育活動の改善・充実に向けた学校関係者評価の実施	・児童・教師・地域、保護者の3者から学校関係者評価を2年連続実施、分析、公表(保護者分) ・学校公開や各種行事でのアンケート実施と分析、改善	児童・教師・保護者評価アンケート回収率達成 80%以上		A	B	・オンラインでの学校公開や学校行事公開を実施し、教師関係者の授業公開を行っている。運動会や学校行事の際には教育活動についてアンケート調査を実施しているが、回収率が低い。今後、周知・協力方法を、有効性のある資料とする。 ・児童・教師・保護者の3者からの学校関係者評価前・後期分を実施、分析し年度末に公表した。	・アンケートのアンケート調査の回収率を向上させるために、PTAと連携するよう取り組みが、 ・アンケートの回収率が低い。今後、周知・協力方法を、有効性のある資料とする。 ・児童・教師・保護者の3者からの学校関係者評価前・後期分を実施、分析し年度末に公表した。	・回収率については、信憑性やより広く声を聞き取る観点から今後協力をお願いし、場合によっては紙面回収に際す。 ・PTAと連携し、評価の目的を周知して回収に努める。 ・学校は子供・教師・保護者や地域とそれぞれ関係の評価を前後期と図られて丁寧である。それぞれに児童の意が見られるのもおもしろいので、評価を生かしていきたい。
特色ある教育の展開	<地域の教育力を生かした教育活動> ・地域の特色や人材資源を生かした、生活・総合的な学習を中心とした探究・体験活動の実施	・進田学習や地域産業を中心とした体験的な学習の実施 ・区グリーンプラン推進校として、特色の進田栽培等を中心とした探究・体験活動と環境教育	児童・教職員評価アンケート達成 90%以上		A	A	・進田学習を通じて、種々の収穫等の体験が子どもたちの生活に響いており、十分な体験ができている。地域産業に際しては総合的な学習の時間や特別活動の中で実施している。また、進田栽培の推進も進んでいる。 ・「進田学習」では、長良川に伴って種々の体験が子どもたちの生活に響いており、十分な体験ができている。	・進田学習を通じて、種々の収穫等の体験が子どもたちの生活に響いており、十分な体験ができている。地域産業に際しては総合的な学習の時間や特別活動の中で実施している。また、進田栽培の推進も進んでいる。 ・「進田学習」では、長良川に伴って種々の体験が子どもたちの生活に響いており、十分な体験ができている。	・進田学習を通じて、種々の収穫等の体験が子どもたちの生活に響いており、十分な体験ができている。地域産業に際しては総合的な学習の時間や特別活動の中で実施している。また、進田栽培の推進も進んでいる。 ・「進田学習」では、長良川に伴って種々の体験が子どもたちの生活に響いており、十分な体験ができている。
	<SDGs教育の推進> ・国際理解教育と外国語活動の充実 ・横断的な健康・食育指導	・東京都国際交流コンベンション指定校として、外国語学習を活用した諸外国校や日本大使館との交流・国際理解教育活動 ・家庭科学習と食育調理が連携したSDGs思考と自己表現活動	児童・教師評価アンケート達成 80%以上		A	A	・区グリーンプラン推進校として、特色の進田栽培等を中心とした探究・体験活動と環境教育 ・家庭科学習と食育調理が連携したSDGs思考と自己表現活動	・他校の児童ではなかなか体験できないことを体験させることができ、またその取り組みがしっかりと行われていた。 ・仮校舎でも外国語学習や国際理解教育、SDGs教育など工夫した取組が実施されている。	・進田学習を通じて、種々の収穫等の体験が子どもたちの生活に響いており、十分な体験ができている。地域産業に際しては総合的な学習の時間や特別活動の中で実施している。また、進田栽培の推進も進んでいる。 ・「進田学習」では、長良川に伴って種々の体験が子どもたちの生活に響いており、十分な体験ができている。
	<SDGs教育の推進> ・国際理解教育と外国語活動の充実 ・横断的な健康・食育指導	・東京都国際交流コンベンション指定校として、外国語学習を活用した諸外国校や日本大使館との交流・国際理解教育活動 ・家庭科学習と食育調理が連携したSDGs思考と自己表現活動	児童・教師評価アンケート達成 80%以上		A	A	・区グリーンプラン推進校として、特色の進田栽培等を中心とした探究・体験活動と環境教育 ・家庭科学習と食育調理が連携したSDGs思考と自己表現活動	・他校の児童ではなかなか体験できないことを体験させることができ、またその取り組みがしっかりと行われていた。 ・仮校舎でも外国語学習や国際理解教育、SDGs教育など工夫した取組が実施されている。	・進田学習を通じて、種々の収穫等の体験が子どもたちの生活に響いており、十分な体験ができている。地域産業に際しては総合的な学習の時間や特別活動の中で実施している。また、進田栽培の推進も進んでいる。 ・「進田学習」では、長良川に伴って種々の体験が子どもたちの生活に響いており、十分な体験ができている。